



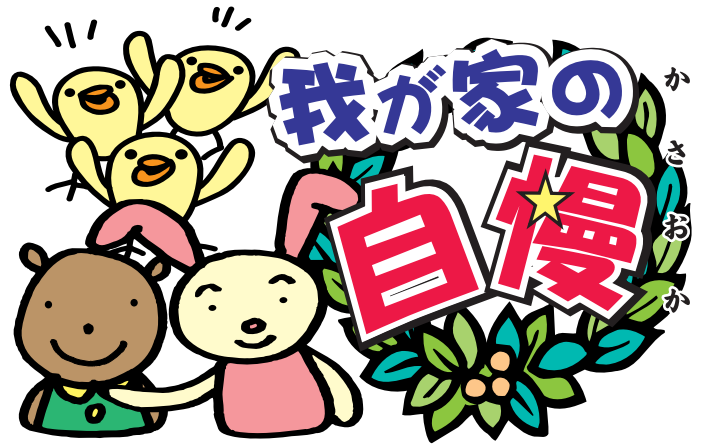
「我が家の笑顔の
みなもとだよ！」

あまのたいが
天野大河ちゃん (笠岡)
H16.10.11生



「優しいゆめ姉によく遊んでもらって
嬉しいね♡うのたん」

くわだ
栗田ゆめちゃん うのちゃん(富岡)
H14.12.17生 H18.3.25生



「我が家の天使」

たかはしはるか ほのか
高橋明楓ちゃん 朋楓ちゃん(笠岡)
H18.9.6生 H18.9.6生



「みんなのアイドル
裕君で〜す!!」

つじかわゆうや
辻川裕也ちゃん (笠岡)
H18.10.16生



「1歳の誕生日に、おもちゃを
背負ってたちしました」

ますもとよしゆき
益本佳幸ちゃん (十一番町)
H17.7.23生

あなたのお家の自慢できる人や物を紹介します。我が家のアイドル(子どもたち)、家族に人気者のペット、家宝、自分だけの宝物…。そんな自慢に一言メッセージを添えて企画政策課まで送ってください。

展覧会と行事のご案内

特別陳列

うめはら とうは
梅原藤坡

会期中

～1月14日(日)

お知らせ

年末年始は12月29日から1月3日まで休館します。

1月4日の入館者にはプレゼントがあります。

〒714-0087
笠岡市六番町1-17
☎63-3967
ホームページ
<http://www.city.kasaoka.okayama.jp/0013/0001.html>

「奥日光、湯の湖の周辺を散策した。ささやかな湖ではあるが画材は豊富であった。此作品は其うちの一つである。麓は秋たけなわな頃であったが、もうここは晩秋で梢に残る葉も僅かであった。湖面に写る色は、周囲の山の樹々を反映して、或は緑、或は紅、或は黄と、色とりどりである。」
(竹喬のことば)

水面には、風がおこすのか波が生れ、てりかえず光がゆらゆらと模様をつくっている。葉を落とす梢には、そこだけ光がまぶしくあたるのか、一部に白く色がつく。湖面に様々な色が写りこんでいたと語っているが、この木のまわりは早くも冬の気配である。



湖面

小野竹喬 作
昭和35(1960)年
18.0×25.8cm

竹喬美術館の光彩 48



中野素嗣



土屋武之

発行日/平成18年12月1日
発行/笠岡市役所
編集/企画政策課
〒714-8601 笠岡市中央町1-1
☎69-2110

印刷/株国輝堂 ☎67-5111

係から

市内の中学2年生の職場体験「いきいきチャレンジたいけん」が先月行われました。
自分の働きたい職種に希望を出して実際に仕事を体験するという、私が中学生の時にはなかった制度で少し羨ましい気がします。短い期間で学べることは限られていたと思いますが、貴重な経験が出来たのではないのでしょうか。
さて、早いもので今年もあと一か月となりました。今年一年みなさんはどんな年だったでしょうか?私は色々ありました。気がつけばあっという間に12月を迎えていたような気がします。残り一カ月の残らないような頑張りたいと思います。(土)

今月の表紙

11月19日、「第10回記念いふあーむ笠岡マラソン大会」で、降りしきる雨の中、競技場を全力で走り抜けていく選手達の様子です。
当日はあいにくの雨模様にもかかわらず、全国から約1000人が参加し、広大な干拓地を駆け抜けました。また、レースを終えた選手には、笠岡市婦人協議会から温かい豚汁が用意され、みんな笑顔でほおぼっていました。

笠岡市ホームページ: <http://www.city.kasaoka.okayama.jp>
メールアドレス: kouhou@city.kasaoka.okayama.jp



※この広報は再生紙を使用し地球環境にやさしい植物性大豆油インキで印刷しています。

100 古紙配合率100%の再生紙を使用しています